

論文タイトル：多臓器から生検を行い診断した播種性非結核性  
抗酸菌症の一例

全著者氏名：

中井 知帆香<sup>1</sup>

米田 太郎<sup>1</sup>

掛下 和幸<sup>1</sup>

佐伯 啓吾<sup>1</sup>

森田 弘子<sup>2</sup>

木場 隼人<sup>3</sup>

所属：

1. 国民健康保険 小松市民病院 呼吸器内科
2. 森田病院 内科
3. 金沢大学附属病院 呼吸器内科

要旨：78歳男性が発熱，倦怠感，腰痛を主訴に来院した．CTでは右肺中葉の浸潤影，多発骨病変，多発膿瘍形成を認めた．気管支鏡検査，骨髓穿刺，CTガイド下骨生検を行い，*M. intracellulare* が検出されたため播種性非結核性抗酸菌症と診断した．また，抗 IFN- $\gamma$  中和抗体が陽性であった．内服治療で症状は改善し，CRP や sIL-2R，ALP も低下した．播種性非結核性抗酸菌症は骨病変を伴うことが多く，確定診断には複数部位からの生検が有用である．

キーワード 播種性非結核性抗酸菌症 (Disseminated Nontuberculous Mycobacteriosis), sIL-2R, 抗インターフェロン- $\gamma$  中和自己抗体 (Anti-IFN- $\gamma$  Neutralizing Antibody)

短縮タイトル：多臓器から生検を行い診断した DNTM 症の一例